

# 宮の森



発行元・白鳥神社総代会

## 拝殿の建築



明治四十年四月、白鳥大火は白鳥町を焼き尽くした。白鳥神社本殿は辛うじて焼け残ったが拝殿は焼失した。

本殿は1852年（嘉永5年）志比の太夫である大久保吉郎右衛門が築いている。

焼ける前の拝殿も、おそらく同じころに造られたのではないかと想像する。

白鳥神社拝殿は志比の太夫・大久保作左衛門が建てている。再建年代は明治四十三年頃。

志比の太夫とは、越前（福井県）吉田郡志比村の太夫の意である。志比村は永平寺の谷合にある村で、鎌倉時代の永平寺創建には多数の宮大工が必要となり、彼等はそこに永住し、村落を築いた。明治期になっても太夫どころとして有名だったらしい。その太夫は郡上にもやってきて多くの仕事を残している。

明治四十三年の「作左衛門文書」には、白鳥神社雑用扣拝殿平面図彫刻の形、拝殿工数日記簿があり、そこには、棟梁・大久保作左衛門伸重、係はつた太夫・良作、二男・森之助、由三、由作の四名、延べ人数1223人と記されている。彼はこの拝殿の他に、郡上で多くの仕事をしている。高鷲村鷲見の白山神社本殿及び拝殿、鮎走門因寺の鐘堂、白鳥町歩岐島悲願寺の鐘堂、阿多岐値誓寺の本堂、阿

多岐板倉白山神社の拝殿、向小駄良神明神社の本殿、野添貴船神社の本殿、大和村徳永恩善寺の本堂、栗栖西保心徳寺の本堂、和良村野尻浄流寺の鐘堂、沢念興寺の経堂、等である。郡上における越前志比の太夫の建築は、この大久保作左衛門で終わりだとしている。

宮大工・白石為次郎氏（郡上郡郷土史考の著者・白石博男氏の親）は大久保作左衛門の直接の弟子ではなかったが『作左衛門さ』と呼び、親しかったよつである。

近年、拝殿の板の張替えは、平成十一年に行われている。平成三十年秋、台風二十一号は神社も急襲し、拝殿屋根の一部を破損したが総代衆で修復。外周の腰壁の防錆剤塗装は令和元年に行っている。令和三年、拝殿踊り保存会の資料作成で、現在の拝殿を詳細に測定し図化された。

（作左衛門文書）大和町万場 桑田洋一氏調べ、  
考察書・内田麻紀子氏修士論文）

## 大神楽フルメンパーに戻り挙行

二年間、コロナ禍で縮小しての開催だった。第七波が心配される中で大神楽師匠の皆さんと再三にわたり協議を重ねた末に、今年は例年取りの開催を決定。九月の初めの稽古に入りました。二年間の

のプランクは小学校低学年が務める神舞子に影響が出て、厳しい稽古に子供達もべそをかきながらも耐えてくれました。付き添われた親御さんもハラハラの連続だったと思います。大人のメンパーも故障者が出る事なく、務めました。マスク着用は、やはり何時もとは少し違う違和感、或いは美しさに欠けるものを感じました。

一方、浦安の舞は雅楽の方々が、コロナを警戒し



同日、十時半から、七五三神事を挙行。遠くは名古屋市、各務原市、高鷲町、大和町、白鳥町内各地から、三十名の元気なお子さんと御両親等総勢百余名のご参拝を頂きました。小春日和の温かい日に晴れ着が眩しく映え、若いエネルギーを感じました。子供は地域の宝、国の命とも言えます。健やかな成長を念じます。

て稽古が出来ないと言われ、本番ではテープで舞い、奉納しました。四人の内、一人が新人でしたが、みんな教えあひ、見事に舞い切りました。大神楽共々、厳しい環境の中であったが、総てを克服して伝統を守り続けてくれました事に敬服と感謝です。

## 初宮・七五三

十一月三日午前九時半から四名の赤ちゃんの初宮神事をいたしました。無事の出産、誕生を神に報告し、この先の健やかな成長を祈願いたしました。

## ◆初宮参拝者◆

- 高鷲町大鷲 和田博志・春乃 長男・悠志君。
- 名古屋市東区 桑崎厚史・咲美 長女・咲那ちゃん。
- 白鳥町前谷 遠藤寿彦・光里 二女・泉織ちゃん。
- 白鳥町為真 小椋晴夫・夏菜子 二女・禾ちゃん。



◆七五三参拝者◆

- 早川実寿7・丸山暖笑7
- 丸山源太5・尾藤昊飛5
- 前畑有沙7・富田詩葉3
- 尾藤光莉7・尾藤蒼桜3
- 早川 樹5・奥村彩瑚3
- 奥村弥来2・新蔵妃瑚7
- 古田陽土3・古田瑛士3
- 小澤晴葵5・小澤大葵3
- 山下あき3・西村大悟5
- 西村杏子3・集山愛柳3
- 原 悠晴5・正者充喜5
- 曾我明香里7・吉田百花5
- 吉田乙葉2・青木陽太4
- 加我安菜7・加我太一5
- 田中音羽7・和田侑也5
- 白鳥神社を忘れないで  
時には遊びに来てね！

(敬称略)

神送り



神からのおさがりとして家で戴く。神様との別れの盃ではない、豊作感謝の分盃である。我が故郷は山に囲まれ、稲作が主である。雪が融けると山の神が里に下りて御座る。それが田の神となり、稲作を見守る。秋に収穫を終えると山に帰り、山の神になると言われる。この時に、感謝を込めて送り出すのが神送り。神様の一年の慰労であり、送別会である。もう少し、盛大にやってもいい様な気がするが……。



白鳥神社は十一月十九日が神送りの日である。午後になると参拝者が三々五々に来られた。甘酒を入れた瓶に、南天の枝を挿して。社守はその酒を受け取り、半分だけ神様に飲んで頂く。残りの半分は、

新嘗祭

白鳥神社の神事で総代全員が礼服で臨むのは三回あります。三月の祈年祭、九月の秋の例大祭。十一月の新嘗祭です。祈年祭はその年の五穀豊穡を願う神事です。そして新嘗祭はその年の豊作を報告し、感謝する神事です。祈年祭と新嘗祭は一对のモノです。新嘗祭では新米を神様にお供えしその後、新米を食するのが慣わしです。皇室では、この習慣が今も守り続けて



おられるようです。当社社では新米の代わりにご浄財を奉納頂いております。今年498軒から御奉納頂きました。誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。神社の護持運営に使わせていただきます。

御寄進・ご奉仕

- 一、社務所雨樋修繕…………… 定立 好教 様
- 一、神楽用草履草鞋百足…………… 三輪 英一 様
- 一、秋葉神社鳥居修繕…………… 定立好教・川崎弘・清水弘 様
- 一、右々 資材、機械提供…………… 川崎弘・正者憲次・正者憲次 様
- 一、右々 塗装工事…………… 北條 弘三 様

◆秋の例大祭ご祝儀◆ (敬称略お許しください)

- 清水直美・玉越時好・高田屋・(株)八重垣・森美温・山田葉局・布屋原酒造場・コスモス苑・美濃建築製品センター
- (株)白鳥印刷(株)・(株)昭和板金・川崎弘・瀬上建設(株)・(株)曾我工務店・瀬木重瀾・古家孝一・三輪規裕・山の中のサンブル屋・曾我金一・松山電機(株)・西村石材店・白鳥自動車整備協業組合・北條弘三・曾我俊彦・瀬上孝男・ヘアースロンエトリ・野崎鉄工・華虎・曾我幸男・(株)蓑島・野々村

清・足立好教・かがや(株)・曾我忠男・曾我理容院・澤崎商店・彫刻松井賢雄・テラキチ・まるはちクリーニング・日置武男・だるまや・間八・清水弘・太衛門・為真白山神社総代・山田勝也・神社本庁・正者憲次・白石博男・ほわいと美容室・大矢栄一・田代雅一・森下烈・白鳥薬品・いづや・つじ店・渡辺幹男・森下まさ子・野々村茂樹・のむらめがね店・(有)てらだ書店・上村博之・武藤富夫・久野博通・瀬上とも子・白鳥地区総代会

◆秋の例大祭お神酒の奉納◆ (敬称略お許しください)

- 布屋原酒造場・正者芳貴・古家孝一・松山電機株・曾我健二・西村石材店・炭屋・白鳥拝殿踊り保存会・(株)笠野建設・原写真館・蓑島稔・野崎鉄工・高田屋・あずまや・大和屋・白鳥踊り実行委員会・白鳥踊り保存会・中村歯科医院・野島征夫・白鳥小学校・武藤富夫・博寿司・マル味・八口一館・5号組・8号組
- 心温かいご祝儀、ご奉納、ご寄進、ご奉仕、誠に有難うございます。

令和四年十二月からの行事予定

- 12/1…………… 神社報「宮の森」30号発行。
- 12/18…………… 新年初詣の準備、最終準備。
- 12/25…………… 縁起物受け入れ。
- 12/31…………… 新年初詣の準備、最終準備。
- 1/1…………… 午後十時より徹夜初詣接待態勢に入る。
- 1/1…………… 午前九時より拜殿にて歳旦祭。
- 1/1〜3…………… 初詣参拝者接待く総代当番交代にて。
- 1/4…………… 左義長・正月清算・あと片付け。
- 1/6…………… 民間企業安全祈願神事。
- 3/2…………… 役員会・次年度事業計画検討。
- 3/5…………… 祈年祭・稻荷神社初午祭。年度末総会。
- 3/24…………… 会計監査。

御朱印受付

ご希望の方は0575(82) 4387・瀬上宮司まで (文責・瀬木)